

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

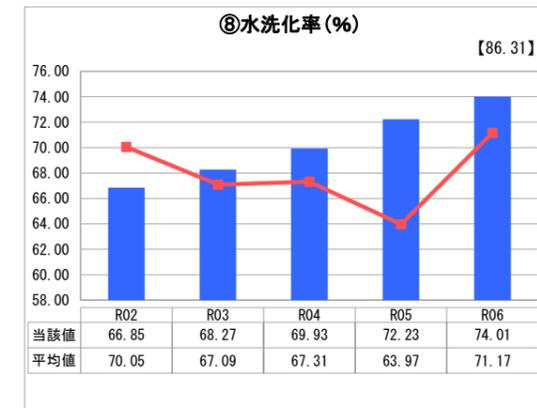
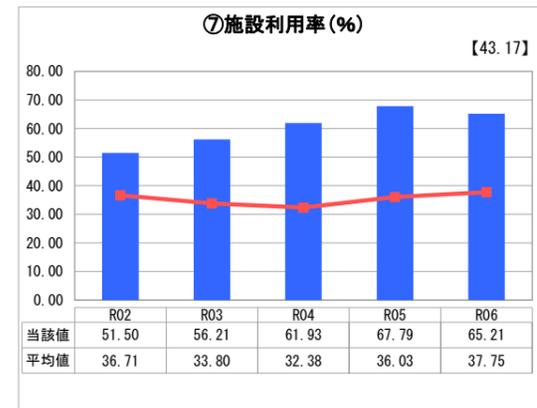
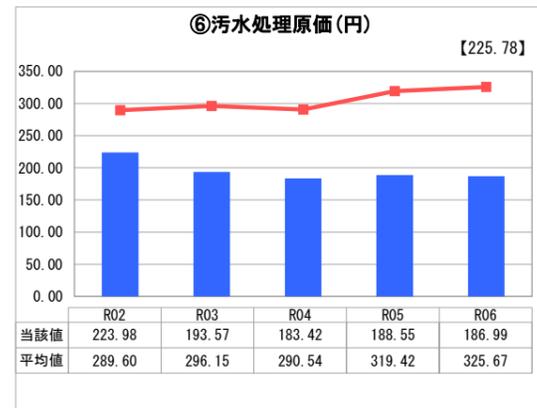
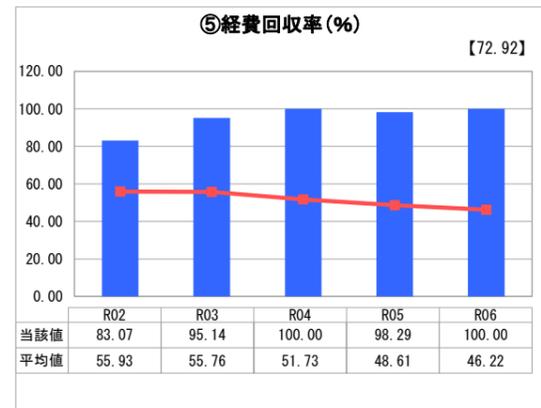
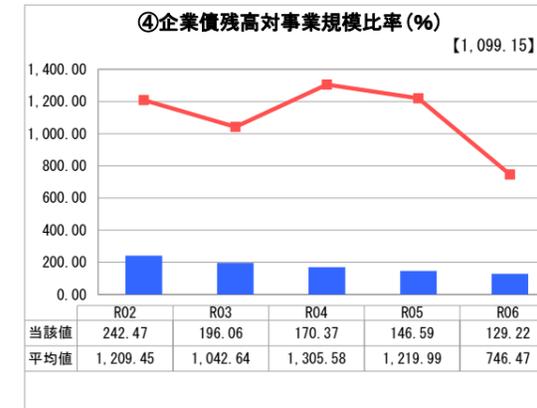
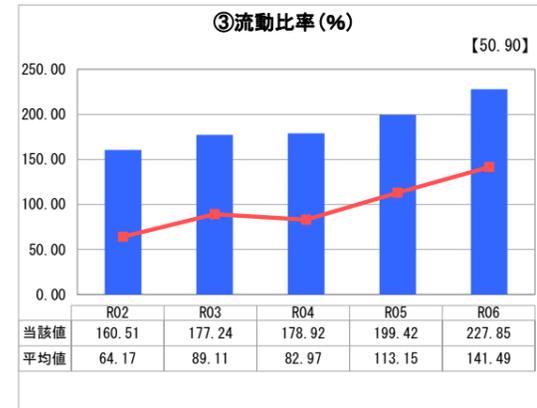
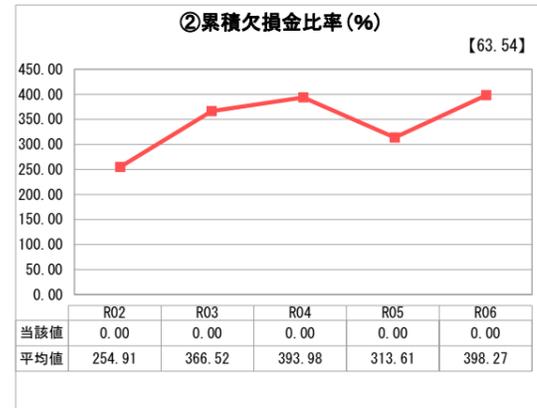
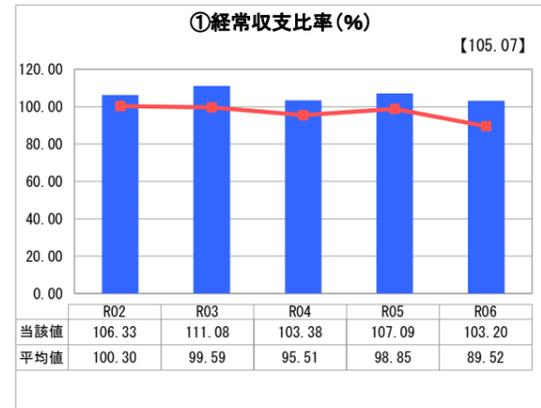
佐賀県 白石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	54.72	23.04	85.91	3,740

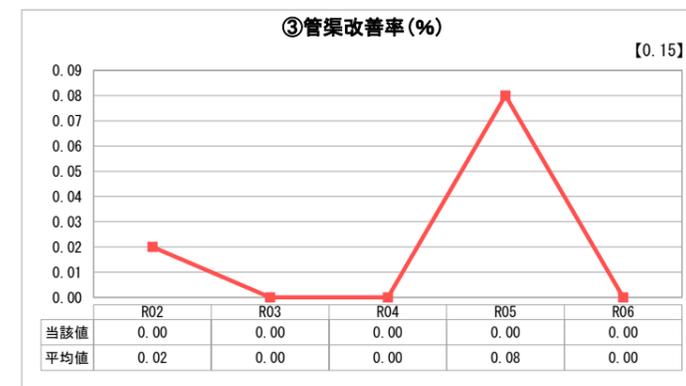
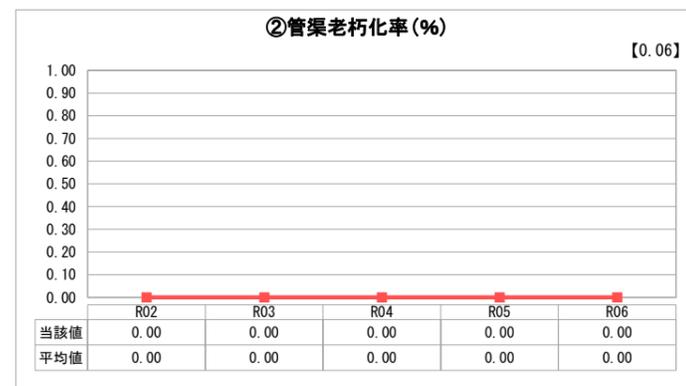
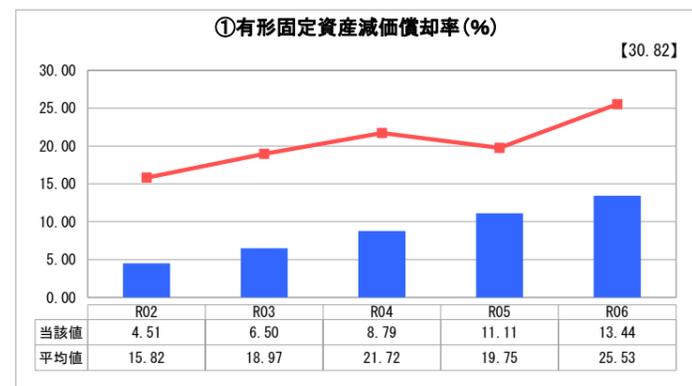
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
21,010	99.56	211.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,809	1.36	3,536.03

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超えているが、一般会計からの繰入金が大きいためである。前年度に比べ経常収益は12,709千円減、経常費用は2,707千円減となり、経常収支比率は前年度に比べ3.89ポイント減の103.20%となった。

② 流動比率は100%を超えており、類似団体平均値を上回っている。

③ 企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値に比べ低くなっているのは、一般会計からの繰入金があるためである。

④ 前年度に比べ汚水処理費は1,902千円増となり、使用料収入が2,833千円増となった結果、経費回収率は1.71ポイント増の100.00%と改善した。

⑤ 汚水処理費は前年度に比べ増加したが、年間有収水量も増加したため、汚水処理原価は、1.56円減の186.99円となった。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均値よりも依然高い状態であるが、令和6年度は平均処理水量が減少したため5年度に比べ2.58ポイント減の65.21%となった。

⑦ 水洗化率は、前年度に比べ1.78ポイント増の74.01%となり順調に増加しているが、今後も水洗化率向上に向けた取り組みを行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、令和元年度から地方公営企業法の一部適用をしており、類似団体平均値に比べ低くなっている。

② 管渠老朽化率及び③管渠改善率は、平成25年度に供用開始をしているため改修には至っておらず、0%である。

処理施設やマンホールポンプについては、各年度の財政負担の平準化を図りながら、定期的な点検・計画的な修繕に努める。

### 全体総括

特定環境保全公共下水道事業は供用開始より12年経過しており、類似団体平均と比較すると良好な経営状態といえるが、人口減少や物価高騰などによる維持管理費の増加など下水道事業を取り巻く環境は厳しくなっている。

下水道事業の健全かつ安定した経営を将来にわたり継続していくために、令和7年度には下水道使用料の改定を行った。

現在ストックマネジメントの実施計画書策定を行っており、今後は施設の老朽化に伴う効果的な施設更新及び修繕、経費の削減など、安定した事業運営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。